

## システム情報工学研究群

Degree Programs in Systems and Information Engineering

### 人材養成目的

システム・情報・社会が融合・複合する学際領域において、グローバルな俯瞰力と多様で柔軟な思考力を持ち、現実世界の複雑で困難な問題を解決する独創力・発想力を備えてリーダーシップを発揮する研究者、大学教員、高度専門職業人を養成する。

	研究群コンピテンス	評価の観点	対応する主な学修
修士	1. 研究力: システム情報工学分野における研究課題設定と研究計画を遂行するための基礎的な知識と能力	①システム情報工学分野の研究課題を適切に設定できるか ②システム情報工学分野の研究を行うための基本的な技術はあるか ③システム情報工学分野の研究を遂行して有意義な成果を上げることができるか	特別研究、特別演習、学会発表、修士論文
	2. 専門知識: システム情報工学分野における高度な専門知識と運用能力	①システム情報工学分野の基礎的な専門知識をもつか ②システム情報工学の特定の分野における高度な専門知識を修得し、その運用能力を備えているか	研究群共通科目、学位プログラム専門科目、学会発表、修士論文
	3. 倫理観: 工学分野の基礎的研究能力を有する人材又は高度専門職業人にふさわしい倫理観と倫理的知識	①研究者倫理および技術者倫理について理解し、遵守しているか	特別研究、特別演習、INFOSS情報倫理、eAPRIN
博士	1. 研究力: システム情報工学分野における最新の専門知識に基づいて先端的な研究課題を設定し、自立して研究計画を遂行できる能力	①システム情報工学分野の先端的な研究課題を適切に設定でき、その研究を行うための高度な技術はあるか ②システム情報工学分野の先端的な研究を遂行して独創的な成果を上げることができるか	特別研究、特別演習、特許、学会発表等
	2. 専門知識: システム情報工学分野における先端的かつ高度な専門知識と運用能力	①システム情報工学分野の専門知識を幅広くもつか ②システム情報工学の特定の分野における先端的かつ高度な専門知識を修得し、それを研究や問題解決のために運用できるか	特別研究、特別演習、学位プログラム専門科目、学会発表等、博士論文
	3. 倫理観: 工学分野の研究者又は高度専門職業人にふさわしい倫理観と倫理的知識、及び専攻する特定の分野に関する深い倫理的知識	①研究者倫理および技術者倫理について十分に理解し遵守しているか ②研究の際に必要な研究者倫理および技術者倫理に関する手続きについて十分に理解しているか。	特別研究、特別演習、一部の専門科目、INFOSS情報倫理、CITI Japan